

弓道いばらき

平成18年4月第28号

発行所 北相馬郡藤代町毛有279-1
茨城県弓道連盟
理事長 久保田 清
電話 (0297-82-2738)
<http://ibakyurenkoho.hp.infoseek.co.jp/>

第2回全日本中学生弓道大会優勝おめでとう！

平常心を取り戻す

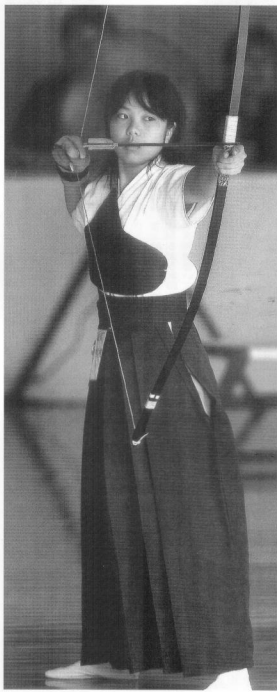
稲田中学校

青木

瞳

予選では、最後の矢を2本とも外してしまい、それぞれ3中で終わってしまっただけで、中てたいという気持ちが強く出すぎたことが原因なのではなかったが、気持ちのコントロールが難しくなっていた。

第2日目の決勝に進むことができたが、決勝射撃は緊張で怖いぐらいだった。しかし、「的中を気にせず普段の射を思い出して引こう」という顧問の江幡恵一先生のアドバイスを思い出し、気持ちを落ち着けて頑張ることができた。射撃では、2本目までは自然体で引くことができたが3本目は緊張が途切れてしまい外してしまっただけで、結局射撃3本目は、私以外の2人も外してしまっただけで4本目の射撃を行うことになった。4本目は平常心を取り戻すことができたため、的中することができた。このような大きな大会で優勝することができて大変うれしく思います。この経験を今後の弓道部での活動や学校生活でも生かして行きたいと思えます。



弓道雑感

茨城県弓道連盟 副会長

木村喜久雄

17年度役員会において皆さんのご信任をいただき、再度副会長に就任いたしましたことになりました。

本県弓道の普及発展に「努力なされて」いる柴田会長を支え、微力ながら貢献いたします所存であります。各位のご支援をお願い申し上げます。

今年は、弓道関係者が待ち望んでいた国際弓道連盟設立の年となります。まさに歴史に残る記念すべき年でもあります。

国際弓道連盟の設立は、射術に對する外国人の興味から生まれたものではなく、信義・謙譲・敬愛・礼節・平和等の涵養を旨とする弓道修練が「勤徳」であり、礼儀正しく、親切な日本人」を育んでいることが魅力と感じ、世界に弓道が普及した結果である、と私は信じておりました。

したがって、国際弓道連盟の設立は、的中崇拝傾向にある一部の日本弓道人に大きなプレッシャーとなつて迫つてくることは必至であります。それには弓道人たる人間形成の修行を怠ることなく、弓道教本に記述されているように体配・射技両得の修練指導をよく理

解し、一層の努力が必要であります。

幸にも、茨城県弓道連盟には、弓道の祖師として尊ばれている、故中野慶吉先生がおられました。

中野先生は他者を誦講中傷することなく、分け隔てなく範示をもつて指導にあたられ、生きる教本として斯道発展に尽力されました。

中野先生の人間性を知る人は、異口同音に先生こそ真の弓道人と称えており、修練の目標にしております。

少なくとも私は、茨城県弓道人の一人として、国際弓道連盟の設立を期に中野慶吉先生の伝説的な人間性を探究し、自己修行の目標にしたいと念じているところであります。

因みに、茨城県弓道連盟は中野慶吉先生の人間性と先生の弓道のあゆみ等を顕彰すべく、中野杯記念大会を二十数年の歴史ある大会として実施していますが、会員各位におかれましては記念大会の意義をおかれましては、中野慶吉先生の偉大さを今後の修練の目標として、世界に恥じない日本の弓道を茨城県から発信していただきたい。

この表現は、中野先生へのご恩返しとなり、欣快の上ないこととなりましょう。

弓道は、矢を發して的中すること。

特集

『弓道の国際化にむけて』

石川奈津実

石岡市牛久米東三年

私は海外派遣の機会に、弓道を楽しさを伝えたいと、弓、矢、的そして弓道を携えてオーストラリアに行つてきました。

弓道のことを英語でどう伝えようかを三人の弓道部員と考へていた時から、その楽しみは始まっていたような気がします。ホームステイした家の一には、とても広い庭があり、羊などがいるその庭に、藁を積み上げて皆で弓道をしました。言葉など通じなくても、皆笑顔になっていました。音楽に環境は無いといいますが、弓道にもまた環境はないのだと思ひました。言葉など通じなくても、皆笑顔になっていました。音楽に環境は無いといいますが、弓道にもまた環境はないのだと思ひました。

その家の第の弓の引き方はアーチエリー形式だったので、日本の弓道との違いを伝えるのはとても難しかったのです。滞在最後の日、私たちはとても衝撃的なことを先

生から聞かれました。「NSW州では、銃、矢など飛び道具を放つことが一切禁じられています。」

とは醒睡味の一つではあるが、的によって心を鍛られ、他者によつて

て礼節を知り、その上での中する

ことが弓道を急ぐ根幹であります。

本場にシヨックとして使用されて今では飛び道具として使用されてはいないのに、オーストラリアにも日弓連の支部があるはずなのに、どうして今、聞かされるのだろうか、皆でとても落ち込みました。

どうしようかと悩みましたが、それよりも、私たちは弓道の楽しさをどうしても伝えたいため、形だけでも発表することにしました。

そしてステイ最後の日、私が大前で、ステイの袖から入場すると、最初さわついていた会場は、弓道の厳かな雰囲気、一気に静まりかえりました。派遣団の友達、先生、地元の友達、その沢山の家族、皆の注目を浴びて、私たちはとても緊張してました。しかし、それは試合とはまた違った一種の心地よい緊張感でした。私たちは一つの礼節を行いました。その一つの動作にオーストラリア人も興味津々で、だから私たちも弓道のすばらしさを味わってもらおうと一所懸命でした。先生は的を持ってくださいました。もう一人の先生は、「矢はこういうふうに飛んでいくんだよ」と実演してくださいました。先生は正論に力強く矢を突き立て、「バン」とい

各位の「一層」の精進を期待します。

う音が体育館中に響くと、会場にいた誰もが大きく拍手をして、それらはなかなか止まりませんでした。私たちは、とても嬉しくて、大きく大きく「THANK YOU」と呼びました。そして、最後に弓道をやつてみたい人を募ると、沢山の人が集まってきた、そのどの人の顔も、皆輝いていました。そのとき、私は「実感したので。『弓道は世界を結ぶ』と。



南極で弓を引く

石岡 石崎 教夫

仕事で少しご縁があった、暫く南極に行っておりまして。

「第43次南極地域観測隊」として南極に行っていた期間は、2001・11・2003の4までです。

私の南極に居る物への仕事は、「装備・フィールドアシスタント」で二役でした。

「装備」の仕事は、南極で生活するために必要な物の調達・管理・配布です。

「フィールドアシスタント」の仕事は、野外活動をする全ての隊員が、死なない為の準備・サポートです。

……とまあ、仕事として行っている訳なんですけど、普段の生活も大事だろうと思って弓具一式持って行きました。「弓もど場所があれば、南極でも弓を引く位出来るだろう。」そう思うのは、どうやら甘かった様です。

正式な隊員として決定するのは7月1日。それから5ヶ月間で全ての準備を終え、訓練をこなし、色々な人に別れを告げなければなりません。目の回る様な忙しさなのは、想像に難くないところでしよう。私も御多分に漏れず目回っていたのですが、その甲斐有って何とか出発出来ました。

現在の南極観測隊は、先に観測船「しらせ」がオーストラリアに

出発し、その後2週間ほど遅れて隊員が飛行機で出発。オーストラリアで合流して1週間後、改めて南極大陸に出発となります。

まあ、そんなこんなで3週間ほどかけて南極大陸に到着し、昭和基地での生活が始まるわけですが、この辺で弓のお話を致しましょう。

個人で持ち込める荷物は限りがありますから、巻蓆を持って行くのは一寸無理です。

と言う事で、まず的を作らなくてはなりません。色々と材料を探し回ったのですが、どうもしつくり来ないものばかり……。

結局ダンボールの10枚重ねに落ち着きました。やってみて初めて分かったのですが、このダンボールの1枚、30本も引いていると貫通してしまいます。もつと重ねると良いのでしょうか、あまり厚いと今度は貫通した時に羽根が巻り取られてしまうので、これは却下しました。

羽根を付け直すと言う事態を全く考えませんでしたから……。

後ろの土手には雪を使っていたのですが、この雪の土手が曲者で、その日の気温で全くの別物になってしまうのです。気温の高い日は

軟らかく、矢が刺さるとどこまでも潜つてしまいます。その都度矢の刺さった雪を掘り起こしていましたが、その深さは概ね5m位。そんな何十本も矢は用意していませんから、掘り返さなければいけません。これが理由で引く回数が減った、と言うのが正直なところです。

潜つてしまおうと言う同じ理由で、遠的も出来ません。一度だけ遠的をしたのですが、横では全く縦に矢が刺さると言うお手上げです。

縦に5m掘り返すと言う努力を考えて、挫折してしまつた私の気持ち、分かって頂きますよね？

気温の低い日は固く、石に当たる様なものです。これは皆さん経験した事が御ありでしょうが、硬いものに当たると鎌は取れてしまふ、当たる角度によつてはどんな方向に矢が飛んで行つてしまいます。こちらはまた簡単で、

鎌は付け替えれば良いですし、飛んで行つた矢も失速していますから目で追いつき易いのです。それでも何本かは見つからなかつたのです……。

気温の低さで泣きを見た事は数え切れませんが、その中でも一番ショックが大きかつたのは、涙を割つてしまつた事です。一張を割る」と言う言葉に馴染みのある方

はいないと思いますが、要は気温の低さによって皮が硬化し、矢が話した通り、軽い凍傷にもなつて、まさに踏更に力を入れたら皮が折れてしまつたと言う事なのです。その後は仕方ないで親指・人差し指・中指にテーピングを巻いた上に、木綿の手袋を3枚重ねと言うあまり宜しくない形で引く羽目になりました。

写真に写した日は気温がマイナス25℃で、それほど寒くないなどみでは辛いでしょうか？弓を引く興味を持った方は、一度調べてみるにはいかがでしょうか？南極って、

興味を持った方は、一度調べてみるにはいかがでしょうか？南極って、

興味を持った方は、一度調べてみるにはいかがでしょうか？南極って、

興味を持った方は、一度調べてみるにはいかがでしょうか？南極って、

興味を持った方は、一度調べてみるにはいかがでしょうか？南極って、

興味を持った方は、一度調べてみるにはいかがでしょうか？南極って、



茨城県教練士会便り

理事長 瀧野 舜

一、はじめに

現在教練士会は一五年度に役員改選があり、二期2年が過ぎ二期の半ばを向かえています。

明間会長を中心に他役員も二期継続して長です。役員一同会運営に渾身をそそいでいます。幸いその意を理解され教練士の方々多数(会員数69名)の入会があり、楽しく無事3年間が経過した事を報告すると共に、会員皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。

さて、教練士会の運営方向として、選任講師を決め一貫指導により、指導効果が目に見えるよう、即ち会員もまた講師もその効果が実感出来る講習会を目標にしてみました。

目標達成に向け柴田 猛先生・関根 村夫先生・久保田清先生を中心に研修会を行なうべく、各先生方に教練士会の意を伝え了承頂きながら、振り返ればなかなか思い通りにならず反省しています。

皆様ご存知の通り、各先生方の忙しさを念及して海外へ各、各地講習会を密着・団体始め各種行事役員と多忙を極めています。そ

の辺の事情は各先生方の近くで接触される皆様には、ご理解頂けるものと思います。

残された二期目後半の1年は、これらを反省し弓道活動の比較的小ないシーズンオフを狙い行事計画を立案し、また外部講師を招いての講習会を一回実施する予定です。

二期目4年間の仕上げの1年にしたいと思っています。

二、役員紹介(平成一七・一八年)

会長：明間 勲
副会長：安藤 延典・堀江 栄
理事長：瀧野 舜
会計長：曲山伊之吉

(平成17年6月まで)
佐野 陽子
監事：市川 道子
理事：瀧野 舜(日立・県北)

地区：綱川 久子(友部地区)
介川 達(水戸地区) 萩沼信子(勝田・湯地区) 吉田 智(石

西地区) 川瀬 政人(鹿行地区) 福田 長作(土浦地区) 石川 崇

之(県南地区) 庄司 幸夫(県北地区) 曲山伊之吉(会長推薦)・天

市川 道子(会長推薦)・天
西地区) 曲山伊之吉(会長推薦)・天

市川 道子(会長推薦)・天
西地区) 曲山伊之吉(会長推薦)・天

市川 道子(会長推薦)・天
西地区) 曲山伊之吉(会長推薦)・天

市川 道子(会長推薦)・天
西地区) 曲山伊之吉(会長推薦)・天

市川 道子(会長推薦)・天
西地区) 曲山伊之吉(会長推薦)・天

市川 道子(会長推薦)・天
西地区) 曲山伊之吉(会長推薦)・天

市川 道子(会長推薦)・天
西地区) 曲山伊之吉(会長推薦)・天

市川 道子(会長推薦)・天
西地区) 曲山伊之吉(会長推薦)・天

顧問 田原 トシ 範士

関 宗長 範士

柴田 猛 範士

関根 村夫 範士

曲山伊之吉 教士

三、終りに

教練士会の開催は各会員個人当

での連絡はしていません。県弓道

連盟の年間行事予定表を見て参加

してもらっています。事前申し込みの手数を省き、なご自身の努力の軽減を考慮し各自弁当持参です。

教練士会は県内で最高の研修の場であり、後輩の多くの入会者は教練士会に仲間入りする事に誇りを持ち、期待して入会して下さい。

新会員の期待に答えられる教練士会、そしてベテラン教練士も参加して実り多く充実感が得られる会運営を目標に、役員一丸となり努力いたします。

多くの入会者と多くの卒業生(範士)が出る事を心から願っています。

昭和三十五年に中野慶吉・関宗長先生の指導を受けて、当時の「明

明正会の活動について

休めば錆る

理事長 堀江 栄

昭和三十五年に中野慶吉・関宗長先生の指導を受けて、当時の「明



五段会の活動について

会長 大貫富十男

を最高顧問に、会長は中山三千夫先生のもと「休めば錆る」を合い言葉に楽しい集いを実行しています。

入会の問い合わせも増えてきましたが、残念ながら、女性は六十歳、男性は六十五歳以上のルールになっています。研修の地は①水戸②石岡③土浦④東海⑤大子⑥友部の六地域です。久しく忘年会も途絶えていましたが十七年十二月に大子温泉に浸り懇親をみっちり深めました。

今まで幾多の先輩の活動に支えられて、この五段会は作り上げられて来ました。昨年の活動を振り返って、これからの、又十八年度の五段会の主要な活動を紹介したいとおもいます。年間一回の競技会と三回の講習会を実施し、臨時の講習会を加えながら活動を実施しています。競技会は会の創設者、範士十段中野慶吉先生を偲んで五段会としての中野杯争奪会を実施し、又講習会は、専任の講師をお願いし継続的な指導を心がけています。

初回以来、現明正会は射法・射技の修練に励み、県弓連の発展に寄与すると共に、品位の涵養につとめ、会員相互の親睦を図ることを目的に三十二名の会員ががんばっています。田原トシ範士八段

特に、錬士を受審するためとして、持的射礼の実施、その際に必要な体配の注意点に重点を置いています。

当会の会員は県弓道連盟において、各種行事の実施にあたり、連年の原動力となる事が多い事に思いを置き、介添え動作、競技における「失」の対処要領等についても、講習会の中に取り入れ、実施しています。又、会の目的として各自の射法、射技の研修を通してと有りますが、これからは次の様な点についても傾注しなければいけないのではないかと考えます。

- 一、各支部での後輩の育成指導の補助等
 - 二、初級指導者としての認識の確認
 - 三、射進行事への更なる参加と貢献
- 弓道を修練して行く中で、弓道の真髄を追求する心構えを持ち、礼節を旨として誠を尽くし、射礼の基本を徹底し、礼に即した体配の習得に心がける事を目指して行きたい。

十七年度を振りかえって

女子部長 天 冴子

一年間の行事を見なおすと
第一回四月十日(日) 女子講習会

講師 関根 村夫先生
会場 県武道館弓道場
参加者 初2・式5・参13
四10・五19・練55
練六6・教六2・教七2

合計64・欠席少々
内容 前年度事業と決算
十七年度の事業と予算
その他(要領事項など)

二、実技
参加者を、二班に分け、前班は一次審査方法、後班は二次審査持的射礼と一つの射礼について、どちらも入場から退場までを徹底して行う。

最後一時間、射術について、指導を受ける。朝の射と最後の射では見違えるほど一人一人が良くなっている。

第二回八月七日(日) 講習会
講師 関根 村夫先生
会場 県武道館弓道場
参加者 初1・式8・練12
四16・五26・参154
練六6・教六3・教七2



合計78・欠席少々

内容
実技

参加者を四段以下と五段以上とに分け、四段以下は射術を徹底し基本になるのとして、十文字をくずさないように、三重の重をくずさないように注意する。

五段以上の部は、持的と一つの会と練立式持的などを行う。最後は射術を行い、総仕上げを行う。

今年、暑さが並でなく、猛暑の中で頑張った。

第二回平成十七年十月三日(日)
日時 平成十七年十月三日(日)
会場 県武道館弓道場
参加 団体チーム 個人二名
来賓 関根 村夫先生
田原 トシ先生
木村喜久雄先生

成績
射形優秀者(土浦支部 石塚美志)
団体
優勝 水戸支部Aチーム
第二位 日立みなみ支部
第三位 神栖支部Cチーム
第二位 水戸支部Bチーム
個人
優勝 佐野 陽子(百文会) 五中
第二位 小内弘子(神栖C) 五中
第三位 五小嵐(みどり) 神栖C 四中
内容 座射一手 立射四ツ矢

座射一手で射形優秀者をきめ四ツ矢との合計が個人の成績とチーム三人の合計を団体の成績とし上位から8チーム残り、トナメント四ツ矢の合計点で上位まで行く。

第四回十一月二十六日(土)
講師 関根 村夫先生
会場 県武道館弓道場
参加者 式3・参7・四9
五16・練73・練六5
教六1・教七2
合計46・欠席少々

大半の審査も終わってしまったので、出席者が少なかった。

前回から続けて行う。人数の少ない分、中味のこく、一人あたりの回数を倍に出来、個人個人が満足感があった。

第五回十八年二月二十六日(日)
新春射会
内容
一手(座射) 四ツ矢(立射) 計六射、余興的(四ツ矢一回)
年後は一年を反省して、意見を言ってもらおう。

これから行われる一年間の行事は以上の様に行われるが、何か足りないやいかに思う。それは精神的の向上をいかにして、一人一人が一年たつてみて、たとえば、考え方が明るくなったとか、短気な

おったとか、個々の人間形成にかかわってくると思われまます。弓道誌一月号、年頭にあたって「射の道は人の道」と題し、「心磨かざれば射行にあらず」と全日本弓道連盟会長嶋川乃武幸先生の書をみて同感しております。

どうぞ、私を含めて皆さんも、弓をもって自分の人間性を命あるかぎり、技術と共に、磨いていきましょう。

県北地区だより

四十三回目の奥久慈弓道大会
太子支部 堀江 栄

昨年十月開催の奥久慈弓道大会も四十三回を迎えることが出来ました。本大会には会員諸氏の熱意と協力により、近隣各支部弓友の参加をいただき、また、栃木県からも参加があり盛会裡に終了しました。

福島県からも弓友が来れば「三県下弓道大会」となります。何とか頑張りたいので、です。

このか承知の如く、太子町は県北部の唯一の山村の地。自然環境に恵まれ、水と緑の豊かな温泉の町としても有名です。辺境なるゆえ観光の町ややすらぎの里として為政者は町造りを目指しています。町道場は三人立ちの小さなもの



ですが、練習には便利などころです。幸い、大子二高に立派な道場があり、各種大会や研修会には活用させて頂いておられます。来年度は閉校となるので管理がどこになるかが明なのが残念です。

袋田の滝の上の集落に諏訪神社があり、そこで毎年三月二十七日に弓祓いの神事があり、古式豊かに行事が絶えることなく約六百年の誇りのひとつです。

道場に人を待っているだけでは消滅してしまうので、昨年初めて弓道教室を開催しました。参加者の要望もあるので、次年度も三十時間の教室を開き、大子の地に弓道の精彩を放ちたいものです。

日立地区だより

茨城県実業団弓道連盟の紹介

日製日立支部 竹之内正宏

茨城県実業団弓道連盟は、県内企業の弓道部から構成されており、全国各都府道の官公庁や企業弓道部が参加し、関東実業団弓道大会や全日本実業団弓道大会が年一回開催されております。

興味が御座いましたらば、前述の県内企業弓道部、又は日製日立（竹之内）までご連絡下さいませようお願いします。

また、最近参加されていない、または参加したことがない県内企業弓道部、県内企業に勤務されている弓友の方々、是非とも参加下さるようお願いいたします。

水戸地区だより

水戸弓道活動報告

水戸桜川支部 白石直之

水戸市弓道連盟は県弓道連盟に登録されている、水戸市支部・水戸英支支部・県庁支部・水戸桜川支部・内原支部の五支部から組織されている。活動内容は大会や講習会の開催である。特にジュニア層の育成に力を入れ、年三回の大会には中・高校生に参加を積極的に呼びかけている。本年度の大会結果は次の通りである。

英城実業団弓道連盟は、県内企業の弓道部から構成されており、全国各都府道の官公庁や企業弓道部が参加し、関東実業団弓道大会や全日本実業団弓道大会が年一回開催されております。

興味が御座いましたらば、前述の県内企業弓道部、又は日製日立（竹之内）までご連絡下さいませようお願いします。

また、最近参加されていない、または参加したことがない県内企業弓道部、県内企業に勤務されている弓友の方々、是非とも参加下さるようお願いいたします。

	1 位	2 位	3 位	
春季大会	中学男子	江幡 遼 (内原)	平石 雅一 (内原)	飯田 聡 (内原)
	中学女子	浅野 浩子 (内原)	川上 沙織 (千波)	江幡奈津実 (水戸二)
	高校男子	鯉淵 裕史 (水戸一)	上遠野仁志 (水城)	桑名 佑生 (水戸一)
	高校女子	中庭 未央 (水戸工)	小沼 遥香 (水戸一)	高橋 弘実 (水城)
	一般女子	小島 敏和 (水戸市)	松崎 稔昌 (水戸桜川)	長崎 寛人 (水戸市)
水戸市体育祭	一般女子	小島 幸子 (水戸市)	川俣 幸子 (水戸市)	小原 幸子 (水戸市)
	中学男子	長谷川 俊 (千波)	皆川 健太 (千波)	砂森 拓也 (水戸市)
	中学女子	石川 智恵 (水戸二)	古川 美月 (水戸二)	所 奈津実 (水戸二)
	高校男子	茂垣 彬 (水戸一)	野口 涼平 (水戸一)	後藤 裕 (水戸一)
	高校女子	清川 睦美 (水戸一)	阿部 那依 (水戸一)	上野 愛実 (水戸一)
秋季大会	一般男子	松崎 稔昌 (水戸桜川)	小島 敏和 (水戸市)	飛田 正明 (水戸市)
	一般女子	萩野谷綾子 (水戸市)	柴原一利子 (水戸桜川)	川俣 幸子 (水戸市)
	中学男子	砂森 拓也 (水戸二)	富田 貴洋 (内原)	高橋 広 (水戸二)
	中学女子	大貫 理恵 (水戸二)	所 奈津実 (水戸二)	中島 千景 (水戸二)
	高校男子	鯉淵 裕史 (水戸一)	会田 真之 (水城)	桑名 佑生 (水戸一)
観梅射会	高校女子	上野 愛実 (水戸一)	清川 睦美 (水戸一)	井川奈津実 (水戸一)
	一般男子	星 浩一 (水戸市)	江幡 博道 (内原)	介川 達 (水戸葵)
	一般女子	小島 幸子 (水戸市)	川俣 幸子 (水戸市)	萩野谷綾子 (水戸市)
観梅射会	三月に実施予定			

石岡地区だより

桐弓会創設と石岡市弓道場

石岡支部 稲葉健次郎

石岡地区の千代田、八郷、石岡、百里の紹介をいたします。平成十七年度に千代田町支部が桐弓会支部に生まれ変わりました。千代田支部は、会員の全員が石岡商業高校のOBであり、柴田範士のご指導の下で石岡市を活動の拠点としておりましたので千代田、霞ヶ浦町の合併に伴い千代田を改め石岡桐弓会支部と名称を変更しました。名の由来ですが、桐弓会の桐とは、昔、石岡が桐の名産地であったことから、石岡商業高校の校章も桐の種がはじけたところをイメージしてデザインされています。そのような背景をうけ、私たちの支部名桐の字をとったわけです。

活動としては、週一回、水金、八郷町支部では八郷総合運動公園内弓道場において、練習日、水曜日の午前と土曜日の午後として活動しています。定例会は月一回、射話や競射をしながら、試合感覚を養うのにも活用されています。体配の確認に活用されています。会員は十八名、年齢も職場も様々で、全員がそろっての練習や定例会を開けないのが悩みですが、自分のペースで弓道を楽しむことを目標にしています。



土曜日の夜八時から十時まで、創立石岡商業の道場を借りて練習しております。現役高校生も含め夜間に高校施設を使用できることにあたっては柴田先生、斉藤先生のご配慮があつてのものとお感謝しております。県大会にも出るだけ参加し、運営にあたっては少しもお手伝いが出来ればと思っております。

メンバーの大半が二十代と若く、年齢層も近いため仲間意識が強く、しかし、時に強烈なライバルとしてお互いに切磋琢磨しながら日々練習に励んでいるところです。二月に行われた石岡市親善武道大会には初参加をして、後輩の高校生、石岡支部の一般の人たちと競い合い親交を深めることができました。

八郷町支部では八郷総合運動公園内弓道場において、練習日、水曜日の午前と土曜日の午後として活動しています。定例会は月一回、射話や競射をしながら、試合感覚を養うのにも活用されています。体配の確認に活用されています。会員は十八名、年齢も職場も様々で、全員がそろっての練習や定例会を開けないのが悩みですが、自分のペースで弓道を楽しむことを目標にしています。

石岡支部は公営の弓道場を持たず個人の芹澤道場及び正月二日に創立二十周年記念射会を行った心館弓道場に頼つてきておりました。その一方、十年來に亘り石岡市武道館、弓道場建設要望の署名活動や市長、市議会への陳情を続けてきておりまして、このたび石岡一日に石岡市は八郷と合併し、八郷町弓道場には「石岡市弓道場」の立派な看板が掲げられ、武道館も出来たわけですね。今後は石岡市武道大会の枠組みも大きな輪となることが予想され発展することが期待されています。

百理弓道部は青山範士の創設以来四十周年を迎えました。OBの山村、大貫先生は県弓連において力を迎えるたびに弓道場の見栄えを良くする作業を部員総出で行っています。草刈ばかりで日々、気持のよい射ができるよう日々頑張っているところです。

百理弓道部は青山範士の創設以来四十周年を迎えました。OBの山村、大貫先生は県弓連において力を迎えるたびに弓道場の見栄えを良くする作業を部員総出で行っています。草刈ばかりで日々、気持のよい射ができるよう日々頑張っているところです。

鹿行地区だより

鹿行支部 小堀 富男

私と弓道との出会いは高校生の時でした。その後社会人になってから、長い間弓道から遠ざかって

いきましたが、市内に新しい弓道場が出来たのがきっかけで、本格的に弓道を再開しました。市内にはスポーツセンター内に近代的な弓道場と、武道の神様が奉られている鹿島神宮の弓道場と、稽古する所は大変恵まれています。私が弓道を再開したもう一つの理由は、日々の仕事から開放される理由がほしかったからです。稽古は週三回行っています。火曜日、木曜日にはスポーツセンターの弓道場で古に励んでいます。稽古は射技と体配の重要性を考え、座射で行っています。矢数はあまり多くかけられません。一射一射、事に引き、縦線を中心にして矢筋通りに、弓手を先行させながら左右均等に引き分け、力の流れを止めない詰合ひの射合ひをし、発を出すようにしています。中りは求めず、中りは結果だと思っています。

最近、機会があつて各民族の弓と矢の計測を行うことができた。ここでは、弓の長さや重量について比較してみたい。(参照図)。この表から、弓の長さが増すと連れの重量が増大していく傾向が見られる。しかし、日本弓は最長でありながら、その重量は中位の重量といえる。弓の材料に竹と木を用いることから、軽量化できた

土浦地区だより

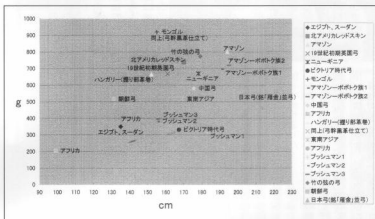
土浦支部 森 俊男

最近、機会があつて各民族の弓と矢の計測を行うことができた。ここでは、弓の長さや重量について比較してみたい。(参照図)。この表から、弓の長さが増すと連れの重量が増大していく傾向が見られる。しかし、日本弓は最長でありながら、その重量は中位の重量といえる。弓の材料に竹と木を用いることから、軽量化できた



た「国際弓道大会」で蒙古弓の実演を、偶々友人がビデオ撮影をした映像があり、そこで矢の速度測定をおこなった。経験者である。

だろう。同じアジアのモンゴルの弓と比べても、約半分の重量であり、その軽いことが頷ける。今、日本弓のサンプルとした弓は紀州藩官製の「雁金弓」で銘には二羽の雁が刻印されている。保存や標の品質が良かったため、弦を張ることができた。〔参考までに〕「張顔」（紀州成）の写真を提供いたします。



た。蒙古弓の射手は、蒙古独立記念日の「ナードム」の弓技の部優勝者である。

射手：フアル・チユルン氏
国立弓連盟職員（郡城ビデオの蒙古弓実演一九九九年二月）
射距離60m 所要時間4.2秒
弓力22kg 矢の重さ不明 弦の重さ不明
日本弓被験者：筑波大学弓道部員（二〇〇〇年十二月 筑波大学遠射射場）
射距離60m 所要時間1.6秒
グラス伸弓15kg 矢の重さ50g
〔蒙古古矢 柳の木〕
ビデオ映像の速度計測から、射距離60mの平均が50kg/時となる。矢の重量が不明なため、速断はできないが15kgの日本弓で蒙古の矢を使用した平均速度が13kg/時と比較するとモンゴル弓の矢へのエネルギーの変換効率はかなり劣るものと考えられる。弓の重量のみではなく、弦、矢、角兒の働きの違いの要因も大きく関係しているものと思われる。

県西部地区だより

境・三和支部から北総支部へ

境支部 深谷 祐
両支部の会員は筑西市から常総市の広い地域にまたがり、境を接する埼玉・群馬県にも及びます。会員数合わせて二十五名（十七年八月現在）で、範士一名・教士三名・錬士四名・有段者十七名の構成です。かつてこの地域には八千代（旧北総）・境・下妻二・水海道一の高校の弓道部がありました。たが支部はありませんでした。その後支部創設の動きが高まり、岡根村夫範士を中心に各校弓道部顧問や卒業生が集い、昭和五十五年三和支部が結成されました。行事の主なものには正月に催される県西弓道大会です。もともと境・北総・古河二高のOB射会から始まりましたが、後に県弓連の後援をいただき、県西部地区の弓道の根を広げていくという趣旨のもと、今年で第二十五回を数え、毎年二百人を超す参加があります。また板東市で毎秋に催される将門祭りには高校生会の会員有志が甲冑を着て弓侍として参加し、出陣前の武者行列に参加したり、甲冑をつけて草原を履いて一キロ強のパレードを行うのは意外に疲れます。武士は足腰が大事と体感できます。弓引きにも当てはまると思えます。

日々の稽古は、境・三和支部一緒に境高校の弓道場で張替謙一教士のご指導のもと行われています。十八年度から名称を変更し、三和支部に境支部の会員を合流して新たに北総支部として活動しています。

会には龍ヶ崎市体育協会にも所属し、市主催の各種スポーツイベントにも協力しています。例えば市民スポーツフェスティバルでは、弓道体験の場を設け、未経験者に弓道のおもしろさを広めるなど、弓道

龍が翔ぶ如く

龍ヶ崎支部 関口 孝久
龍ヶ崎支部の歴史は、昭和四十九年の県連盟登録から始まりました。以前から「龍翔会」という名称で弓を楽しんでいましたが、力がつくに従い、審査・試合に参加したいという目標を持つようになる、独立した支部として活動を始めた。道場は、当時龍ヶ崎市立愛宕中学校の教員でもあった大貫六郎先生の一尽力で、中学校の弓道場を活動の場としていました。中学校の道場を借りるという活動形態でしたが、当時から中学校の弓道部員との交流が活発に行われていました。そのため、弓道部員のOBが現在も会員として活躍するケースも多く、さらに毎年、市民弓道教室を開催しているため、会員数は次第に増加してきています。

県南地区だより

ことになりまので、よろしくお願いたします。



人の底辺拡大にも努力しています。こういった活動の成果か、ここ数年は二十〜三十歳代の会員も増え、稽古も活況を呈しています。また試合・審査にも積極的に参加し、好成績を取ることができるようになってきました。

稽古は週一回の夜間、また月二回の日曜日に各々二時間の活動ですが、会員それぞれが課題を持って、それを克服できるよう努力しています。

さらに牛久、取手、藤代、守谷を中心とする県南地域の合同練習会にも積極的に参加し、相互の交流を広げるとともに、弓に対する姿勢をしつかり確立していただけるよう、研鑽に励んでいます。

最後に、会の運営にお骨折り下

さった歴代役員の方々に感謝するとともに、今後の弓道の発展に努め、精進していく所存です。

会員の皆様には、日々の稽古にご精進のご様子に、

指導部長 庄司 幸夫

昨年度の講習会は、三段以下の方々は各支部の先生方に御指導をお願いし、指導部は和服着用の参加以上の方を対象とした講習会を主催して参りました。

お蔭様で、各支部より多くの参加を頂き、年初計画を滞りなく終了することが出来ました。ご指導頂いた講師の先生、受講者各位のご協力に対し、紙面をお借りしお

指導部だより



礼申し上げます。

一方、講習会を含めた修練の結果として県外大会や審査結果を振り返って見ますと、例年に比べ低調でした。審査員のご指摘は、特に体配面での乱れがあるとのことと

今年も栗田会長の下で競技の充実をはかることを願ひ、森大買実先生にご相談しながら微力な私ですが精一杯尽くす所存でございます。

競技部では昨年に引き続き施設部、強化部のご協力を得て、県大会の日に遠発の練習を行えるよう準備(雨の日は中止)し、皆様のご期待に沿えるようにしたいと考えております。

遠発は弓道の基本ですので「苦手」意識を持たず楽しめるような心で励んでください。

また、遠発の矢が無いからと云わず近発の矢で充分ですので挑戦してみてください。

今年はいづフェスティバルが中学生の大会に替わり、県の大会は十古の発表の場として大きな意欲をもって大会を盛り上げて頂ければ幸いです。

大勢の会員の皆様のご参加を心から歓迎し、有意義な大会にして下さることをお願いして挨拶いたします。

競技部だより

競技部長 須田 勝

会員の皆様には益々ご健勝で稽古に励まれていることとお慶び申し上げます。

審査部だより

審査部長 明間 勲

成せば成る、成さねばならぬ私に出来るのが、四年前の役員改選理事会の席でした。審査部

平成17年度 受審一覧

年度	種別	受審	無指定					計
			初段	二段	三段	四段	五段	
5/22	一般	受審	28	40	30	26	124	
	合格	28	40	15	11	94		
6/25	中高	受審	331	140	41		512	
	合格	2級 38 1級 76	191	111	5		305	
7/10	中、高	受審	136	51	5		212	
	合格	2級 20 1級 51	75	90	0		125	
9/1	一般	受審	11	10	20	26	76	
	合格	11	10	7	6	34		

年度	種別	受審	無指定					計
			初段	二段	三段	四段	五段	
9/18	中高	受審	97	38	3		118	
	合格	2級 5 1級 46	34	33	1		48	
10/9	混合	受審					165	
	合格					165		
11/6	一般	受審	39	26	47	46	158	
	合格	39	24	15	12	90		
11/19	中、高	受審	365				365	
	合格	2級 27 1級 202	16	134	26		166	
12/4	中、高	受審	111	104	5		220	
	合格	111	104	5		220		
合計	受審	2級 90 1級 505	1139	419	178	100	1636	
	合格	2級 505 1級 505	505	352	46	29	892	

長を命じられ引き受けることになりました。試行錯誤を繰り返しながら何とか、二期四年間務めることが出来たのも、審査委員また審査部の役員のご協力があつた為と感謝しています。紙面をかりお礼を申し上げます。

広報部については大会、行事等の○月刊誌「弓道」への報告。
○ホームページへの掲載
○そして、この「弓道いばらき」の作成です。
と大きく分けて三つの仕事がありました。
ご協力ありがとうございました。

さて、十七年度の受審者と合格者はどうであったかを見てみますと残念ながら一般の無指定を受審された方が毎年減少しているのが残念であります。無指定が少ないことは、明らかに各支部の初心者証を発送しますと、弓道教室を復活になされている支部は初段認許証が数枚あり、この支部は弓道教室を実施されているのがわかります。中高生は四年間で五百名の減少となり少子化といえ減少が多いと考えられます。学校指導者にも力を求めなければ、茨弓連のみならず全日本の弓道人口の減少になるのではないかと。

☆編集集をしている中で左記の特集を組んでみようという事になりました。振つて応募してください。毎年、中野範士記念弓道大会が行われていますが、若い人たち、特に中学・高校生には中野先生についてほとんど知らないと思います。先生に接した方より弓道のことはこちらの方が他エピソードなどの原稿を期待します。

広報部だより

「中野慶吉範士のこと」
原稿募集!

副部長 小野崎紀男

今年も皆様のご協力によりまして、この二十八号を作成することが出来ました。

**平成17年度 県連主催大会成績
全日本勤労者弓道
選手権大会県予選会**

- H17.4/9
▼団体の部
一位 日製茨城A
竹之内正宏、新山 晃一、

- 石井 誠
二位 三菱化学A
大輪良健蔵、諸橋 昭
寺本 貞光
三位 日立電線A
寺田 均、梶山 平寿
村山 久行

- ▼個人の部
一位 梶山 平寿 日立電線A
二位 竹之内正宏 日製茨城A
三位 石井 誠 日製茨城A

- ▼春季大会
H17.4/24
▼団体の部
一位 日製日立A
新山 晃一、竹之内順子、
竹之内正宏
二位 つくば市A
中野 了治 村田さくら、
山口 聡
三位 桐弓会A
青柳 優、柳瀬 透、
池田 秀臣

- ▼個人男子の部
一位 田中 靖博 筑波大学B
二位 青柳 優 桐弓会A
三位 渡邊 専二 ひたち市商番

- ▼個人女子の部
一位 尾科 恵子 石岡市
二位 黒澤 智子 三菱化学
三位 芦田 信孝 桐弓会C
▼称号受有者の部

- 一位 平戸 信行 ひたち市商
二位 廣原 洋介 霞ヶ浦
三位 古川 静雄 原研(東海)
★優秀賞 団体の部
第一射場 土浦電城E
河合 徹辻 高宏
後藤 裕一

- 第二射場 桐弓会A
▼優秀賞 男子個人の部
第一射場 山崎 芳美 取手市
第二射場 池田 秀臣 桐弓会
★優秀賞 女子個人の部
第一射場 黒澤 智子 三菱化学
第二射場 浜野 悦子 下館

- ▼選手権大会「一般の部」
H17.5/29
▼三段以下の部
一位 辻 尚宏 土浦電城
二位 明村 範彦 高萩市
三位 新山 晃一 日製(日立)
▼四段・五段の部
一位 柳瀬 透 桐弓会
二位 平野三津雄 土浦市
三位 緑川 慎二 高萩市

- ★優秀賞
池田 秀臣 桐弓会 五段
平野三津雄 土浦 四段
菊地 俊和 藤代 四段
黒澤 智子 三菱化学 四段
松崎 稔昌 水戸桜川 四段

- ▼称号受有者の部
一位 石井 誠 ひたち市商
二位 平戸 信行 ひたち市商
三位 小沼 勝則 波崎町

- 選権大会「称号者の部」
H17.6/5
一位 小畑 富男 鹿嶋市
二位 平戸 信行 ひたち市商
三位 萩原 裕一 美野里町
最高得点
白石 直之 水戸桜川

- 県民総体(兼)国体選手選考会
H17.6/19
▼男子の部
★成年三段以下の部
一位 青柳 優 桐弓会
一位 斎藤 利章 神栖町
三位 井上 大輔 日製日立
★成年四段以上の部
一位 関口 信夫 取手市
二位 菊地 俊和 藤代町
三位 大貫士男 小川

- ▼女子の部
★成年三段以下の部
一位 友部 那美 桐弓会
二位 桑名 朝 常磐大学
三位 磯山 博生 桐弓会
★成年四段以上の部
一位 萩野 淑江 神栖町
一位 尾科 恵子 石岡市
三位 沖田 紀子 牛久市

- ▼称号受有者の部
一位 石井 誠 ひたち市商
二位 平戸 信行 ひたち市商
三位 小沼 勝則 波崎町

- ▼称号受有者の部
一位 石井 誠 ひたち市商
二位 平戸 信行 ひたち市商
三位 小沼 勝則 波崎町

遠の大会(兼) 全日本遠的選手権予選

H17・6/26

- 男子四段以下の部
 - 一位 杉山 義光 航空自衛隊
 - 二位 菊地 俊和 藤代町
 - 三位 青柳 優 千代田
- 男子五段以上の部
 - 一位 石井 誠 ひたちなか市湊
 - 二位 郡司 武満 日製日立
 - 三位 池田 秀臣 千代田
- 女子四段以下の部
 - 一位 磯山 博生 千代田
 - 二位 友部 那美 千代田
 - 三位 西野 弥生 ひたちなか市湊
- 女子五段以上の部
 - 一位 石井 和子 ひたちなか市湊
 - 二位 小島 幸子 水戸市
 - 三位 佐野 陽子 日立みなみ

青年大会「青年協」

H17・8/21

- 一位 土浦市 助川 末廣(監督)
- 二位 筑西市 飯泉 清(監督)
- 三位 行方郡 高野 敬光(監督)
- 佐藤 孝至、宮河佳代子、高野 敬光

第29回中野杯記念弓道大会

H17・9/25

- 一般男子の部
 - 一位 塚本 重毅 土浦亀城
 - 二位 池田 秀臣 桐弓会
 - 三位 山崎 芳美 取手市
- 一般女子の部
 - 一位 磯山 博生 桐弓会
 - 二位 友部 那美 桐弓会
 - 三位 高羽 京子 水戸市
- 称号受有者の部
 - 一位 関 正美 那珂市
 - 二位 白石 直之 水戸桜川
 - 三位 圓城寺賢一 水戸桜川

段位別大会

H17・10/16

- 二段以下の部
 - 一位 和田あずさ 高萩市
 - 二位 船越 忠 神栖町
 - 三位 大貫 勇 藤代
- 一段の部
 - 一位 海老原和典 土浦市
 - 二位 古田 忠晃 龍ヶ崎市
 - 三位 磯山 博生 桐弓会

支部対抗戦

H17・10/30

- 一位 土浦市 米橋 茂、海老原和典、矢野 智之
- 二位 土浦亀城 谷山 葉祐、本田 敦、河合 徹
- 三位 ひたちなか市湊 平戸 信行、西野 弥生、渡辺 弘
- 三位 玉造町 佐藤 至學、齊藤 勝美、高野 敬光

称号受有者の部

H17・11/20

- 一位 石井 和子 ひたちなか市湊
- 二位 米山 良美 下館
- 三位 石井 誠 ひたちなか市湊
- ★優秀賞
- ★二段以下の部
 - 一位 青柳 優 桐弓会
- ★三段の部
 - 吉岡 忠晃 龍ヶ崎市
- ★四段の部
 - 正根寺 洋 下館
- ★五段の部
 - 池田 秀臣 桐弓会
- ★五段の部
 - 小出 則行 水戸桜川

男子の部

H18・1/22

- 一位 菊地 俊和 藤代町
- 二位 竹之内正宏 日製日立
- 三位 大瀧良健蔵 神栖町
- 女子の部
 - 一位 浜野 悦子 下館
 - 二位 友部 那美 桐弓会
 - 三位 飯泉 順子 下館
- 称号受有者の部
 - 一位 石井 和子 ひたちなか市湊
 - 二位 小沼 勝則 波崎町
 - 三位 萩沼 信子 殿山弓道

新春射会

H18・1/22

- 三段以下の部
 - 稲見 真人 下館
- 四・五段の部
 - 立山たみ子 友部町
- 称号受有者の部
 - 小堀 富男 鹿嶋市
- 総合優勝
 - 稲見 真人 下館

平成17年度 その他県内大会成績

H17・4/3

- 小学生の部
 - 一位 石神小 千賀 樹
 - 二位 白方小 澤富 瑞樹
 - 三位 村松小 小松 誠
- 中学生の部
 - 一位 藤代 A

射詰優勝 東海中 塩澤 湧斗

H17・4/213

- 一位 南中 照浩 卓紀
- 二位 南中 豊島 沙也
- 三位 南中 福井 友美
- 高校、一般の部
 - 射詰優勝 水戸一 上野 愛美
 - 一位 佐和 荒原 折己
 - 二位 佐和 立若 信秀
 - 三位 水戸桜川 松崎 稔昌

土浦桜祭り大会

H17・4/213

- 中学の部
 - 一位 山崎 大輔 土浦一中
 - 二位 田村 香奈 朝日中
 - 三位 阿部なな子 阿見中
- 高校男子の部
 - 一位 小松 卓史 竜ヶ崎一
 - 二位 高橋 裕也 石岡商
 - 三位 大村 雅晴 牛久高
- 高校女子の部
 - 一位 岩見谷 藍 石岡商
 - 二位 吉田 昌美 佐和高
 - 三位 上田 望美 守谷高
- 一般の部
 - 一位 石井 優 常磐大
 - 二位 小堀 富男 鹿嶋市
 - 三位 齊藤 利章 神栖町
- 一般射詰賞
 - 小堀 富男 鹿嶋市
- 一般団体
 - 一位 藤代 A

武道フェスティバル

H17・11/20

- 一位 高萩市
- 二位 友部町
- 三位 鈴木正太郎 下館

福水 弘
二位 霞ヶ浦A

福田 長作、今井 紀一、
小松 正幸

三位 波崎町
小沼 勝則、越川 道也、
高野 敬光

▼高校男子 団体優勝
牛久高A(木村 雅晴、
本宮 拓也、石上 雅史)

▼高校女子 団体優勝
石岡商(大高 綾、
岩見谷 藍、中村 実香)

▼一般の部
射訪優勝 石川 崇之、取手市
射込優勝 辻 尚宏、土浦亀城
射込二位 越川 道也、波崎町
射込三位 大瀬良健蔵、神栖町
団体優勝 土浦Aチーム
小崎 貴司、植田 徹也、
米栖 茂

▼個人の部(男子)
一位 三菱化学 大瀬良健蔵
二位 日製日立 竹之内政宏
三位 日製日立 石井 誠
▼個人の部(女子)
一位 三菱化学 梶 直子

▼個人の部(男子)
一位 三菱化学 大瀬良健蔵
二位 日製日立 竹之内政宏
三位 日製日立 石井 誠

▼個人の部(女子)
一位 三菱化学 梶 直子

▼個人の部(男子)
一位 三菱化学 大瀬良健蔵
二位 日製日立 竹之内政宏
三位 日製日立 石井 誠

▼個人の部(女子)
一位 三菱化学 梶 直子

▼個人の部(男子)
一位 三菱化学 大瀬良健蔵
二位 日製日立 竹之内政宏
三位 日製日立 石井 誠

▼個人の部(女子)
一位 三菱化学 梶 直子

▼個人の部(男子)
一位 三菱化学 大瀬良健蔵
二位 日製日立 竹之内政宏
三位 日製日立 石井 誠

▼個人の部(女子)
一位 三菱化学 梶 直子

▼個人の部(男子)
一位 三菱化学 大瀬良健蔵
二位 日製日立 竹之内政宏
三位 日製日立 石井 誠

▼個人の部(女子)
一位 三菱化学 梶 直子

二位 三菱化学 五十嵐みどり
三位 日本原子力研究所
梅宮 典子

▼吉田金太郎杯 最多得点賞
三菱化学 大瀬良健蔵

鹿島神宮弓道大会
H17・4/29

▼高校の部
射訪優勝 谷田川寛之、石岡商
射込優勝 岩見谷 藍、石岡商
射込二位 幕内 雄尊、土浦工
射込三位 飯田 泰典、石岡一
団体優勝 石岡商業
大高 綾、中村 美香、
岩見谷 藍

▼一般の部
射訪優勝 石川 崇之、取手市
射込優勝 辻 尚宏、土浦亀城
射込二位 越川 道也、波崎町
射込三位 大瀬良健蔵、神栖町
団体優勝 土浦Aチーム
小崎 貴司、植田 徹也、
米栖 茂

▼個人の部
一位 三菱化学 大瀬良健蔵
二位 日製日立 竹之内政宏
三位 日製日立 石井 誠

▼個人の部(男子)
一位 三菱化学 大瀬良健蔵
二位 日製日立 竹之内政宏
三位 日製日立 石井 誠

▼個人の部(女子)
一位 三菱化学 梶 直子

▼個人の部(男子)
一位 三菱化学 大瀬良健蔵
二位 日製日立 竹之内政宏
三位 日製日立 石井 誠

▼個人の部(女子)
一位 三菱化学 梶 直子

▼個人の部(男子)
一位 三菱化学 大瀬良健蔵
二位 日製日立 竹之内政宏
三位 日製日立 石井 誠

▼個人の部(女子)
一位 三菱化学 梶 直子

▼個人の部(男子)
一位 三菱化学 大瀬良健蔵
二位 日製日立 竹之内政宏
三位 日製日立 石井 誠

▼個人の部(女子)
一位 三菱化学 梶 直子

▼個人の部(男子)
一位 三菱化学 大瀬良健蔵
二位 日製日立 竹之内政宏
三位 日製日立 石井 誠

▼個人の部(女子)
一位 三菱化学 梶 直子

▼個人の部(男子)
一位 三菱化学 大瀬良健蔵
二位 日製日立 竹之内政宏
三位 日製日立 石井 誠

団体優勝 清真学園
池田 真弓、井上七菜加、
立原 有夏

▼一般の部
射訪優勝 石井 誠、ひまわり
射込優勝 荻原 裕一、美野里中
射込優勝 黒澤 智子、三菱化学
射込優勝 石井 誠、ひまわり
射込三位 小沼 勝則、波崎町
団体優勝 鹿嶋市
小堀 康夫、佐藤 三男、
望月 隆夫

▼個人の部
一位 圓城寺賢一、教育庁
二位 白石 直之、OB
三位 宮本 和明、常総学院中

▼男子の部
一位 大金喜代子、大成女子高
二位 酒井 有香、もみじ幼稚園
三位 富田 紀子、大子一高

▼女子の部
一位 岩間 捷雄、みと愛
二位 石川 崇之、取手市
三位 安斉 寿雄、東海村

▼個人の部
一位 岩間 捷雄、みと愛
二位 石川 崇之、取手市
三位 安斉 寿雄、東海村

▼個人の部(男子)
一位 岩間 捷雄、みと愛
二位 石川 崇之、取手市
三位 安斉 寿雄、東海村

▼個人の部(女子)
一位 岩間 捷雄、みと愛
二位 石川 崇之、取手市
三位 安斉 寿雄、東海村

▼個人の部(男子)
一位 岩間 捷雄、みと愛
二位 石川 崇之、取手市
三位 安斉 寿雄、東海村

▼個人の部(女子)
一位 岩間 捷雄、みと愛
二位 石川 崇之、取手市
三位 安斉 寿雄、東海村

▼個人の部(男子)
一位 岩間 捷雄、みと愛
二位 石川 崇之、取手市
三位 安斉 寿雄、東海村

▼個人の部(女子)
一位 岩間 捷雄、みと愛
二位 石川 崇之、取手市
三位 安斉 寿雄、東海村

▼個人の部(男子)
一位 岩間 捷雄、みと愛
二位 石川 崇之、取手市
三位 安斉 寿雄、東海村

▼個人の部(女子)
一位 岩間 捷雄、みと愛
二位 石川 崇之、取手市
三位 安斉 寿雄、東海村

▼個人の部(男子)
一位 岩間 捷雄、みと愛
二位 石川 崇之、取手市
三位 安斉 寿雄、東海村

▼個人の部(女子)
一位 岩間 捷雄、みと愛
二位 石川 崇之、取手市
三位 安斉 寿雄、東海村

▼個人の部(男子)
一位 岩間 捷雄、みと愛
二位 石川 崇之、取手市
三位 安斉 寿雄、東海村

▼個人の部(女子)
一位 岩間 捷雄、みと愛
二位 石川 崇之、取手市
三位 安斉 寿雄、東海村

▼高校の部
射訪優勝 山崎 英行、石岡一
射込優勝 山崎 英行、石岡一
射込優勝 池田 真弓、清真学園
射込二位 木崎 隆博、石岡一
団体優勝 石岡一
河原井寛弘、野中 辰哉
山崎 英行

▼一般の部
池田 真弓、清真学園
射訪優勝 菊地 俊和、藤代
射込優勝 塚本 重毅、常総学園
射込優勝 岡地 誠、つくば市
射込三位 岡野 良雄、土浦市
団体優勝 玉造町
奇藤 勝美、佐藤 至学、
高野 敬光

▼個人の部
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼男子の部
一位 内山 覚、常総学院
二位 星 喜進、OB
三位 宮本 和明、常総学院

▼女子の部
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(男子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(女子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(男子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(女子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(男子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(女子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(男子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(女子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(男子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(女子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(男子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(女子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

小武内弘子、和田 昭子、
荻野 淑江
三位 水戸B
高羽 京子、武田美代子、
照井 ひさ

▼個人の部
一位 佐野 陽子、日立みなみ
二位 小武内弘子、神栖町
三位 五十嵐みどり、神栖町
★射形優秀者
石塚 美志、土浦市

▼一般の部
池田 真弓、清真学園
射訪優勝 菊地 俊和、藤代
射込優勝 塚本 重毅、常総学園
射込優勝 岡地 誠、つくば市
射込三位 岡野 良雄、土浦市
団体優勝 玉造町
奇藤 勝美、佐藤 至学、
高野 敬光

▼男子の部
一位 内山 覚、常総学院
二位 星 喜進、OB
三位 宮本 和明、常総学院

▼女子の部
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(男子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(女子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(男子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(女子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(男子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(女子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(男子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(女子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(男子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(女子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(男子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(女子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(男子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(女子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(男子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(女子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(男子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(女子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(男子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(女子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(男子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(女子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(男子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(女子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(男子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(女子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(男子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(女子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

▼個人の部(男子)
一位 柴 弥寿子、土浦工業
二位 大金喜代子、大成女子高
三位 酒井 有香、もみじ幼稚園

- 二位 森重 雄太 藤代
- 三位 高盛 悟 常総学院
- 一般の部
- 団体優勝 波崎町
- 小沼 勝則 木村 俊夫
- 祖父江 惠美

射語優勝 福水 弘 藤代

射込 一位 小沼 勝則 波崎町

- 二位 石田 昌嗣 神栖町
- 三位 木村 俊夫 波崎町

県南大会

H17・11/27

▼高校女子の部

- 一位 中村真由美 石岡商
- 二位 寺島 光 常総学院
- 三位 岩見谷 藍 石岡商

▼高校男子の部

- 一位 小暮 祐介 藤代
- 二位 吉村 卓也 東洋大牛久
- 三位 鹿嶋 裕介 土浦工

▼一般三段以下の部

- 一位 海老原和典 土浦市
- 二位 佐々木千鶴 牛久市
- 三位 菊池 政行 土浦市

▼一般四段以上の部

- 一位 吉田 忠晃 龍ヶ崎市
- 二位 中座 由行 土浦市
- 三位 矢野 智之 土浦市

第25回 東西弓道大会

H18・1/8

▼高校団体の部

- 優勝 八千代 A
- 二位 下館 B
- 三位 守谷 A

▼高校個人の部 男子

- 一位 菊地 儀 (水海道一高)
- 二位 砂田 高宏 (土浦工業)
- 三位 星野 真郷 (岩瀬高校)

▼高校個人の部 女子

- 一位 仁平智代美 水海道一
- 二位 谷中めぐみ 下妻一
- 三位 木村 絵美 境

技能優秀

- 高校団体 境高 A
- 高校男子 砂田 高宏 土浦工
- 高校女子 関 志織 八千代

▼一般の部 有段者の部

- 一位 高野 敬光 玉造町
- 二位 岩下 智明 下館
- 三位 丸けい子 美野里町

▼一般の部 称号者の部

- 一位 吉澤 靖 三和町
- 二位 米山 良美 下館
- 三位 高木 勉 藤代

★技能優秀

- 丸 けい子 美野里町

女子部新春射会

H18・2/26

- 射語賞 柴原一利子 水戸 B
- 競射

- 一位 佐野 陽子 日立みなみ
- 二位 柴原一利子 水戸 B
- 三位 萩野谷穂子 水戸 A
- 余興的
- 一位 柴原一利子 水戸 B
- 二位 廣水千加代 友部町
- 三位 中野 紀子 水戸 A

観梅弓道大会

H18・3/11・12

▼高校女子の部

- 一位 山野 貴広 玉造工
- 二位 嶋田 和希 石岡商
- 三位 加藤 剛史 藤代

▼高校女子の部

- 一位 中村真由美 石岡商
- 二位 東 幹子 石岡一
- 三位 鈴木一恵美 日立二

▼一般男子の部

- 一位 坂本 寛紀 東日本国際大
- 二位 稲見 真人 下館真射会
- 三位 桜井 信一 龍ヶ崎

▼一般女子の部

- 一位 海老根芳江 ひたちなか市済
- 二位 中川美枝子 ひたちなか市済
- 三位 吉田 博美 日立みなみ

平成17年度 県外大会成績

H17・7/3

▼男子の部

- 個人四位 松崎 稔昌 水城高校

▼女子の部
個人優勝 大金喜代子 大成女子高

第36回全日本教職員弓道選手権大会

H17・8/8・19

▼個人の部

- 三位 吉澤 靖 境高校

第56回全日本弓道遠的選手権大会

H17・10/29・30

▼女子の部

- 二位 石井 和子 ひたちなか市済

明治神宮奉納弓道大会

H17・11/3

▼称号者の部

- 四位 柴原一利子 十位 米山 良美

第6回全国遠的大会

H18・1/9

▼成年女子の部

- 五位 西野 弥生
- ▼成年男子の部
- 四位 矢野 大輔

平成17年度 中体連大会成績

H17・7/27

▼男子個人

- 優勝 愛宕
- 二位 城西
- 三位 清真

▼男子個人

- 優勝 井之上瑞己 東海
- 二位 中山 裕高 愛宕
- 三位 岡田 渉 東海南

▼女子個人

- 優勝 東海
- 二位 稲田 千波
- 三位 千波

▼女子個人

- 優勝 青木 瞳 稲田
- 二位 福井 友美 東海南
- 三位 吉田小百合 阿見

第29回中野杯争奪弓道大会

H17・8/1

▼男子団体の部

- 優勝 千波
- 準優勝 愛宕
- 三位 土原

▼女子団体の部

- 優勝 東海南
- 準優勝 稲田
- 三位 阿見

▼男子個人の部

- 一位 山崎 大輔 土浦一
- 二位 菊池 健太 土浦一
- 三位 菊池 拓矢 茨城

▼女子個人の部

- 三位 清真学園

- 平成17年度 高体連大会成績
- 一位 酒井 愛依 稲田
 - 二位 谷中 理香 稲田
 - 三位 市原恵里子 内原

春季大会兼関東大会県予選

H17・5/7・8

男子団体

- 一位 石岡商 A
- 二位 下妻一 A
- 三位 玉造工

女子団体

- 一位 石岡商
- 二位 八千代
- 三位 大宮

男子個人

- 一位 富田 敏誌 石岡商
- 二位 上遠野仁志 水城
- 三位 鯉淵 裕史 水戸一

女子個人

- 一位 大高 綾 石岡商
- 二位 関 志織 八千代
- 三位 上久保朱莉 日立商

全国高校総体県予選兼県民総体兼国体茨城大会兼県高校総体

H17・6/10・12

男子個人

- 一位 松崎 敏暎 下妻一
- 二位 石崎 博紀 玉造工
- 三位 宮本 翔太 竜ヶ崎一

女子個人

- 一位 高橋 祐太 土浦一
- 二位 平沢 誠士 湊二
- 三位 藤田 裕紀 大宮

- 一位 岩見谷 藍 石岡商
- 二位 大高 綾 石岡商
- 三位 菊池 優 日立商

★全国大会団体出場校

- 男子 水戸一
- 女子 石岡一

★全国大会個人出場者

- 男子 松崎 敏暎 下妻二
- 石崎 博紀 玉造工
- 女子 岩見谷 藍 石岡商
- 大高 綾 石岡商

国体選手選考会

H17・6/24、27、7/4

男子

- 一位 篠田 裕紀 大宮
- 二位 中山 裕太 石岡一
- 三位 菅原嵩太郎 常総学院

女子

- 一位 大高 綾 石岡商
- 二位 今西友加里 八千代
- 三位 関 志織 八千代

県個人選手権大会兼関東個人選手権大会県予選

H17・8/20、22・23

男子総合

- 一位 高橋 祐太 土浦一
- 二位 平沢 誠士 湊二
- 三位 藤田 裕紀 大宮

女子総合

- 一位 大高 綾 石岡商
- 二位 渡辺あゆみ 境

中野優勝旗記念弓道大会

H17・9/23

男子団体

- 一位 石岡商
- 二位 太田一
- 三位 土日大

女子団体

- 一位 下妻一
- 二位 石岡一
- 三位 日立一

男子個人

- 一位 中山 裕太 石岡一
- 二位 中澤 涼太 石岡商
- 三位 小暮 祐介 藤代

女子個人

- 一位 仲村 友美 石岡一
- 二位 御膳喜美子 下妻一
- 三位 中村真由美 石岡商

決勝トーナメント

男子団体

- 一位 水戸一 B
- 二位 大宮
- 三位 石岡一

女子団体

- 一位 日立商 A
- 二位 水戸一
- 三位 取手一

男子個人

- 一位 石本裕一朗 石岡商
- 二位 桑名 佑生 水戸一
- 三位 小暮 祐介 藤代

女子個人

- 一位 木下 絵美 清真学園
- 二位 大竹 沙織 下館一
- 三位 上野 愛実 水戸一

★全国高校選抜弓道大会団体出場校

- 男子 水戸一
- 女子 日立商

★全国高校選抜弓道大会個人出場者

- 男子 石本裕一朗 石岡商
- 女子 木下 絵美 清真学園

○県外大会の記録

第49回関東高等学校弓道大会

H17・6/3・5

表彰

- 第一位 今西友加里 八千代

- 第七位 岩見谷 藍 石岡商
- 男子個人
- 第七位 松井 宏友 下妻一

男子団体

- 第三位 石岡商

★技能優秀賞

- 女子個人
- 大高 綾 石岡商

女子団体

- 石岡商

第24回関東高等学校弓道個人選手権選抜大会

H17・9/17・18

表彰

- 第二位 紺野 昭輝 取手一
- 第四位 高橋 祐太 土浦一

女子個人

- 第一位 大高 綾 石岡商

第2回全日本中学生弓道大会

平成17年8月6日・7日

(明治神宮弓道場)

8月6日(土) 個人戦予選

予選結果 8射6中

(予選通過者8名)

8月7日(日) 個人戦決勝

優勝 青木 暉

（宮崎市立稲田中学校）



平成17年度県外審査関係(錬士以上合格者)

[錬士]			
岩田 隆志	三和	奈良	2005.08.29
岡野 道男	石岡	仙台	2005.07.03
川俣 幸子	水戸	上尾	2005.11.16
大貫富士男	小川町	東京	2005.12.18
江幡 博通	内原	東京	2006.02.17

[七段]			
白石 直之	木戸桜川	東京	2005.11.03

[六段]			
鳥居 士郎	取手市	弘前	2005.08.10
福地 平	サイクル機構	宇都宮	2005.09.11

(左から 氏名 支部名 受審場所 合格日)

表彰

茨城県体育協会会長・教育長賞
優秀選手

指導者功勞
功勞賞

石井 和子
吉澤 靖
江幡 惠一
村夫 関根



講習会・研修会

[県外]

関東女子講習会

(千葉 H17・6/17~19)

萩沼、塩津、萩野谷、佐野、小室
関東北部指導者

(前橋 H17・6/18~19)

白石、庄司、山村、助川、中井川
中央研修会

(東京 H17・9/30~10/2)

市毛、明間、久保田
指導力・競技力指導者講習会

(東京 H18・2/4~6)

荻原、清水、川瀬
地連幹部指導者講習会

(前橋 H18・3/4~5)

張替、白石、宮崎
審査員、講師研修会

(東京 H18・3/10~12)

柴田、関根、久保田
関東女子錬士講習会

(H18・2/20)

尾崎、古田、小島、塩津、廣木
[県内]

講師・審査員研修会 (H17・4/16)

五段講習会 (H17・4/17、6/18、9/19)

三・四段講習会 (H17・5/28、9/4、

H18・2/12)

称号者講習会 (H17・6/25、10/29)

支部指導者講習会 (H17・7/31)

学校指導者講習会 (H17・8/25)

編集後記

「更なる充実のために」

皆様のご協力によりまして二十八号を発行することができましたことは、係りとして先ず感謝申し上げます。ありがとうございました。

十七年度は天候異変により暑さ寒さに悩まされながらも一年でした。また平成の大合併で新市、新支部、新弓道場ができました。

茨城県弓道連盟のホームページ <http://shakyuwebshop.jp/musekco.jp/> には、役員、行事、大会の記録などが掲載されておりますので、是非ホームページを開いて見てください。

また、編集会議の中で「弓道関係の写真」「著名な弓道家」について原稿を集めて特集を組みたいという話になりました。つきましては皆様の情報のご提供をお待ちしております。原稿送付先は小野崎までお願いいたします。特集充実のためよろしくご協力をお願いいたします。

広報部長

廣水千加代

広報部員

広報部長 宮崎 康美
副部長 小野崎紀男
副部長 川又 正昭
副部長 高橋 輝子

星 輝彦
立川 久泰
鳥居 士郎
増田 英一
稲葉健次郎
橋本 アキ
岡田耕一郎
萩野合穂子
廣水千加代
中井川美枝子
安部 容子
半澤 佳朗
山口 裕利
佐川 裕子
岡見 伸行
須藤 岳志
新山 晃一

逝去

(五段) 川崎 博至殿
H18年3月1日 78才

